



かえって福音の前進に

総主事兼 CSK 主事 嶋田博考

「さて、兄弟たち。私の身に起こったことが、かえって福音の前進に役立ったことを知ってほしいのです。」(ペリピ 1:12)

ペリピ人への手紙は獄中書簡として知られています。パウロが投獄されることは、だれも望んでいなかったことです。しかし、投獄の理由がキリストのゆえであることが、親衛隊の全員と、ほかのすべての人たちに明らかになりました。また、兄弟たちの多くは、パウロの投獄で主にある確信を与えられ、恐れずにみことばを語るようになりました。すなわち、まだ信仰を持たない人にも、すでに信仰を持って歩む人にも、キリストが宣べ伝えられる機会となりました。人間的には宣教の妨げでしかないパウロの投獄が、主の御手のうちにあって、福音の前進に役立ったのです。



なお世界各国で拡大しつつある新型コロナウイルスの感染が、一日でも早く終息するよう、引き続きお祈りいたします。ご支援くださる多くの教会において、労苦のうちに教会の礼拝と交わりを保っておられることを覚えて、お祈りしております。

コロナ禍で前進する宣教協力

感染防止のために活動が縮小する期間、「かえって」進んだことがあります。その一つは、他の国と地域のスクリプチャー・ユニオン (SU) との宣教協力です。

コミュニティーグループ・ギャザリング

9月19日(土)には、SU 東西アジア+南アジア・コミュニティーグループ・ギャザリングがオンラインで開催されました。例年であれば、それぞれの国と地域の理事長と総主事が出席するものですが、オンラインの開催ということで、それぞれの国と地域で働きをともにする方々も参加しました。開催前の登録数で139名という参加人数で

した。

日本からは、例年の稲垣博史理事長、総主事嶋田に加えて、前総主事で理事である小山田格師(国際福音センター東小金井チャペル牧師)、国際キャンプ委員会から委員長の原雅幸師(日本福音キリスト教会連合〔JECA〕キリスト教たんぼぼ教会牧師)と委員の黒田信正兄(JECA 千歳烏山光の子聖書教会教会員)が参加しました。特に、原師には依頼があり、他に働きを持ちながら働きをともにする方々(英語ではボランティア: Volunteer と呼ばれます)が集まるセッションで証しをしてくださいました(4ページにその要旨を掲載)。

東西アジアの総主事会議

同じ交わりを保つ SU 東西アジアで支え合う動きは5月から始まりました。5月8日(金)と15日(金)には、SU 東西アジア総主事会議(SU East & West Asia Leaders Meeting)が行われ、総主事嶋田が参加しました。各国SUの報告によって、感染拡大が世界的に与えている影響を改めて認識させられました。日本の聖書同盟が、SU 韓国とともに、コンパニオンシップを結んで支援するSUトルコの情報も入りました。

青少年国際キャンプ委員会開催

7月27日(月)には、SU 東西アジアの青少年国際キャンプ委員会(ISC Task Force)がオンラインで開催され、日本から稲垣理事長と国際キャンプ委員会の原委員長が参加しました。青少年国際キャンプは2022年から、これまでの3年ごとの開催から2年ごとの開催に変更することが決まりました。今後の協力の見通しを立てることができました。

コンパニオンシップ・ミーティング

7月30日(木)には、コンパニオンシップのためのSUトルコとSU韓国とのオンラインのミーティングが持たれ、稲垣理事長と総主事嶋田が参

加しました。韓国語からトルコ語に翻訳して作成する聖書通読誌の発行は守られています。人と人が顔を合わせる研修会などの働きは一時は停止していると聞いていましたが、オンラインで積極的に開催しているとのことでした。しばらく支援献金を手渡す機会はありませんが、新型コロナウイルスの状況が落ち着いてから手渡すことを確認しました。

全世界のSU連鎖祈禱

さらに、11月7日(土)には、24時間のSU連鎖祈禱(Prayer Chain)が行われました。これは東西アジアだけでなくSUグローバル全体のものです。午前9時からの30分を日本の聖書同盟が担当しました。聖書同盟からは理事、職員など5人が参加し、他の国と地域のSUの「日本の状況を知って祈りたい」という方々とオンラインでつながって、16名でともに祈るときを持つことができました。

ぜひ新型コロナウイルスの状況下で、お互いの関係を深め、助け合いながら働きを進める、世界各国のSUの働きを覚えてお祈りください。

スモールグループ・セミナー「さらに豊かにみことばに」YouTubeで公開中!

2020年10月10日(土)に聖書同盟と聖書を読む会が主催、日本ウイクリフ聖書翻訳協会が共催して、スモールグループ・セミナーを開催いたしました。新型コロナウイルスの状況下のため開催方法を変更して、オンラインで開催しました。

みことばを分かち合って学ぶことの大切さをともに確認することができたセミナーでした。その内容については、クリスチャン新聞2020年11月8日号に掲載された記事を、許可を受けて次ページに転載しましたのでお読みいただければと思います。

この機会に、聖書同盟がこれまで大切にしてきた聖書の権威についてお伝えすることができ、大切なこととして受け止めてくださる方々もおられ、とても感謝でした。

講演の内容を公開中です。YouTube上で「1010 スモールグループ・セミナー」と検索してください。聖書同盟への参加申し込みは定員の30名までは達しませんでした。オンライン開催ということもあって、近くからまた遠くから多くのご参加をいただきました。これも、日本全国の諸教会にお仕えしたいと願っている聖書同盟にとっては、「かえって」(巻頭言のことば)働きの前進でした。心から感謝いたします。(右のQRコードでYouTubeを視聴できます)



スモールグループ・セミナーの概要

(クリスチャン新聞 2020年11月8日号より許可を得て転載)

「スモールグループ・セミナー」が10月10日、Zoomによるオンラインで開催された。松丸嘉也（日本ウイクリフ聖書翻訳協会総主事）、福田崇（日本ウイクリフ宣教師、聖書同盟理事、聖書を読む会理事）、嶋田博考（聖書同盟総主事兼中学生聖書クラブ協力会〔CSK〕主事）、水口功（東京FM・桜ヶ丘キリスト教会主任牧師、聖書を読む会理事長）の各氏が講演した。



同セミナーは、聖書を読む会、聖書同盟、日本ウイクリフ聖書翻訳協会の3団体が協力。「今後の日本宣教の鍵となるのがスモールグループではないか」との見解で一致し、今回の企画を立て準備を進めてきた。当初はお茶の水クリスチャン・センターで開催の予定だったが、新型コロナウイルス感染防止を考慮し、オンラインでの開催となった。

松丸氏は「翻訳聖書を通して語る神」と題し、「なぜ聖書は翻訳されなければならないのか」について講演。「神様は、人を動かす言葉の持つ力を大切にしておられる。福音のメッセージを伝えるために『文字』化、『言語』化という方法を取られたとも言える。あらゆる時代、すべての人に救いのメッセージが届けられるために、神様はそれぞれの母語も大切にしておられる。母語で聖書から受けた恵みを分かち合うことで、さらに祝福を深めることができるのではないか」と語った。

福田氏は「スモールグループ運動の現在」と題して講演。「信徒の存在と働き、その賜物の有能さを聖書は力強く書き記していることに、牧師たちは気づくべき。信徒の中の隠れた賜物を引き出し、目を覚まさせることが急務。このこととスモールグループは関連している。非欧米の宣教では、お金のかからない宣教が目指されている。迫害下では教会に集まれないので、スモールグループで様々な場所に集まるようになる。コロナ禍の状況下でもそう。スモールグループで集まる時には、必然的に信徒が責任を負うようになる。

インドやフィリピンで、小グループにより成長している教会の例を挙げ、「鍵は信徒、聖霊、神の言葉、スモールグループ。単なる技術、方策ではなく霊的刷新が目標だ。刷新の結果として、地域共同体の変革も目指されている」と語った。

嶋田氏は「聖書の権威とみことばを分かち合うこと」と題して講演。「スモールグループでの分かち合いは、聖書をより理解するためだけでなく、聖書の権威を認めるという信仰者の大切な態度を養い合うもの。分かち合いのうちに理解が進み、前言を修正、撤回することがあったとしてもそれは有益なことだ。自分が正しいことでなく、御言葉が正しいことが明らかになるための交わりだからだ。御言葉の権威に自らを置くあり方は、互いにいい影響を与え、その姿勢が生活のすべてに及ぶことが期待できる」と語った。

水口氏は「スモールグループで聖書を学ぶ意義」と題して講演。水口氏が牧会する教会では、礼拝説教、聖書日課、聖書を読む会の手引き「ローマ人への手紙」の三つの分かち合いをしているとし、その実践から「自分で聞いて考え、疑問に思ったことを語ったり聞いたり、整理していく中で、より御言葉に親しめる。他の人の発言から教えられることもある。分かち合った内容を聞いて、自然に祈りに移行できる」と、そのメリットを語る。一方、「牧師が司会者、学び会のリーダーの場合、信徒は牧師の話に聞き入ってしまい、信徒が自分で考え求めることを妨げてしまうことがある」と、課題も指摘した。

「教会、職場、地域の学校の中に聖書を学び、分かち合うスモールグループがあり、そこにクリスチャンでない方が加えられたなら、御言葉を分かち合うクリスチャンの姿を見て感化を受け、伝道の実を見ることができるようでは」と、スモールグループへの期待も述べた。

講演後、各グループに分かれて分かち合いの時を持った。

証し：東西アジア青少年国際キャンプに関わって

この証しは、2020年9月19日にオンラインで開催されたSU 東西アジア+南アジアのコミュニティグループ・ギャザリングにおいて、原雅幸師（JECA キリスト教たんぼぼ教会牧師）がなされた証しをご本人が要約されたものです（原文は英語）。当日は約140名が参加しました。



主の御名を賛美します。

原雅幸と申します。SUでのニックネームはMASAです。このニックネームにはマレーシア語で「時」という意味があると、20年前に初めて参加した第3回青少年国際キャンプで、あるボランティアワーカーに教えてもらいました。このキャンプは私にとって生涯忘れられない経験となり、このキャンプの中で、私は神様からの召しを確認しました。それから国際キャンプのボランティアスタッフになり、やがて引率リーダーになり、今は日本の聖書同盟で国際キャンプ委員会の長として奉仕しています。

さて、私が大切にしている御言葉が、第一列王記17章3節～4節にあります。「ここを去って東へ向かい、ヨルダン川の東にあるケリテ川のほとりに身を隠せ。あなたはその川の水を飲むことになる。わたしは烏に、そこであなたを養うように命じた。」

神様の召しをいただいた後、私はこの御言葉を読み、ここから私は「主のしもべを養う烏になれ」とのミッションを受け取りました。それで、私はこのミッションをいつでも、どこでも何をしている時でも達成するよう努めるようになりました。聖書同盟のような超教派でボランティアとして働くこともまた、この使命のひとつです。

一方で、青少年国際キャンプは日本のクリスチャン・ユース（あるいはクリスチャンホームの子どもたち）にとって「ケリテ川のほとり」のような場であると思います。日本は、エリヤの時代の

イスラエルのように偶像でいっぱいのある場所であり、主を信じる者も多くありません。エリヤがそうだったように、クリスチャン・ユースたちはいつも心細いのです。しかし、神はエリヤをケリテ川のほとりで養われたように、国際キャンプに参加するキャンパーたちに神は触れてくださり、彼らを養い、立ち上がらせてくださいます。国際的なクリスチャンの集まり、熱心に神に仕えている同じアジア人の友人との出会い。これらのものは日本ではほとんど体験できません。キャンパーたちは、国際キャンプで生きておられる神様に豊かに触れられ変えられていくのです。

烏は普通、他者のために食べ物を運ぶことはしません。烏は、自分自身のために食べ物をつかむのです。しかし、主に捕らえられた烏は違います。聖なる烏は自分ではなく主のしもべを養うのです。聖書同盟のボランティアワーカーは、聖なる烏だと思います。神に捉えられることなしにこの働きはできないし、神に満たされていなければ、仕えられません。国際キャンプに参加することで、私は多くのボランティアスタッフの皆さんと出会いました。そこで、私以上に、主の烏として仕えておられるのを見る時、私の心は喜びに踊ります。あの烏が食べ物を運んだだけであったように、ボランティアワーカーの多くは、目に見えて多くを成し遂げるというより、ひとつのことに専心します。しかし、神様が烏たちの働きを結び合わせ、御業を成し遂げてくださるのです。ハレルヤ！

第 52 回 CSK 中学科教師研修会をオンラインで開催します！

今年 3 月に残念ながら中止となった第 52 回 CSK（中学生聖書クラブ協力会）中学科教師研修会ですが、来年 2021 年 3 月 6 日（土）に改めてオンラインで開催いたします。

テーマ：成長のステップに合わせたチャレンジ～学生伝道の現場から～
教会の中高生クラスに期待すること、お願いしたいことを大学生伝道のスペシャリストが現場目線で鋭く語ります

日時：2021 年 3 月 6 日（土）10:00～11:30、13:00～14:30

講師：吉澤慎也 KGK（キリスト者学生会）副総主事（学生宣教局長）



プロフィール：両親がクリスチャンの家庭で育ち、中学 2 年生の時にバプテスマを受ける。現在、JECA 宣教教会に出席。男の子 3 人の 5 大家族。「誰にでも分かりやすい聖書のメッセージを心がけています。」

前回に引き続き、CSK キャンプ出身の講師をお迎えでき感謝です。日本福音自由教会協議会・清瀬福音自由教会（岩井基雄師）から YouTube で講演を配信し、参加者には Zoom でもつながっていただいて質疑応答などをいたします。午前 10:00～11:30 と午後 13:00～14:30 です。その間は自由参加の交わりの時間とします。CSK の働きへの献金アピールはさせていただきますが、参加費は無料です。

参加希望の方は、お名前、教団・教会名、ご住所、メールアドレス、電話番号を明記し、info@suju.org までお申し込みください。開催が近づきましたら、オンライン参加に必要な情報をお伝えいたします。企画・運営する CSK 委員会では長い間、遠方の諸教会の若い人への働きにお仕えしたいと願っていました。遠くから近くからのご参加を心よりお待ちしております。

お知らせ：聖書通読誌の購読の期限を一律 12 月号までに

「みことばの光」と「月刊ジュニアみことばの光」をご愛読いただきありがとうございます。特に、定期購読の方々（冊子または PDF 版）にお知らせしますが、業務の簡素化のため、2021 年 1 月より購読の期限を一律 12 月号までとさせていただくことになりました。これまで、購読開始から一年または半年の購読期間をお選びいただきましたが、購読期間も原則一年のみとさせていただきます。その後は翌年 12 月号まで一年の購読を継続していただきます。ただし、個別の対応はさせていただきますのでご安心ください。購読が途切れることのないよう、10 月から 11 月にかけて購読継続の願いをお届けします。定期購読の受け付けと通読誌のお届けにおいて、より一層の充実に努めてまいります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、多くの教会に教会の方々のご購読を取りまとめくださる方がおられます。そのご労に心から感謝いたします。また、「みことばの光係」という名称で、その役割を長く引き継いでくださっている教会もあります。聖書通読運動が教会とともに取り組むものであることを覚え、大変励ましを受けております。上記の通り、定期購読について大きな変更になりますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

「みことばの光」と「ジュニみこ」がともにPDF版で定期購読できます！

「みことばの光」のデジタル版(PDF)はすでに多くの方に利用していただいておりますが、前号でお伝えしましたように、「月刊ジュニアみことばの光」もPDF版で定期購読できるようになりました。

「みことばの光」のPDF版はすでに作成・販売していたのですが、「ジュニみこ」のPDF版は、これまで必要を感じながらも、普段の編集に追われてなかなか実現できませんでした。けれどもこの機会に、石井陵太ジュニみこ編集責任者を中心に作成に取り組み、5月初旬にジュニみこPDF版を初めて作成することができました。国内外の郵便事情が悪化した期間は、届かない冊子の代わりに、PDF版を入手して、日々のデポーションを継続していただけるように対応させていただきました。

CSK キャンプ・レポート

聖書同盟・CSKが協力しているCSK インキャンプとCSK アウトキャンプですが、今年の夏はいずれもオンラインで開催されました。

●CSK イン・オンラインキャンプ 日程：8月9日(日)～10日(月) 講師：大高伊作師(JECA 佐倉福音キリスト教会牧師) *期間中2回のオンライン集会

●CSK アウト・オンラインキャンプ 日程：8月17日(月)～19日(水) 講師：吉澤慎也 K GK (キリスト者学生会) 副総主事 *期間中4回のオンライン集会

講師の大高伊作師と吉澤慎也 K GK 副総主事は、一度はキャンプ中止をお伝えしましたが、オンラインでの開催に応じてくださり、心を込めて中高生のキャンパーたちに福音のメッセージをお語りくださいました。インとアウトを合わせて、キャンパーとスタッフを含め100名以上の参加がありました。初めてのオンラインキャンプでしたが、お祈りに覚えていただき、ありがとうございました。

インキャンプでは、日本バイブルホームのトマス・ティアニー師からビデオメッセージが届きました。キャンパーの質問に答える恒例の「Q&A」というコーナーで、理事長の稲垣博史師、CSK 委員長代行の吉澤恵一郎師、ジュニみこ編集責任者でCSK 委員の石井陵太師にご協力いただき、総主事兼CSK 主事の嶋田も含めてそれぞれ一問ずつ回答しました。アウトキャンプでは、嶋田ともう一人のスタッフとで、松原湖バイブルキャンプ・アウトキャンプ場とその周辺から中継をしました。どちらのキャンプも、初めてのことでしたが、ジュニみこ編集責任者によるジュニみこアピールがありました。

いわゆる自粛期間中も、各教会のスタッフはオンラインのキャンプ準備会で話し合いと交わりを保ちました。そして、キャンプ場を所有する団体の財政的な危機を覚え、参加教会それぞれの了承を得て、キャンプ場の働きを持つ6つの団体へCSK キャンプ基金より支援献金をいたしました。日本バイブルホーム、松原湖バイブルキャンプ、hi-b.a. (高校生聖書伝道協会)、奥多摩バイブルチャー、奥多摩福音の家、信州バイブルキャンプ場(順不同)です。その後に集まった献金もお送りすることができました。

10月18日(日)と25日(日)の午後には、再会を目的としたオンライン集会が開催されました。

残念ながら、関西地区CSK キャンプは今年の夏、今年の春、夏と連続して開催中止となっています。協力教会の交わりが保たれ、キャンプ開催が継続されるよう、また、キャンプアドバイザーとして働きの中心になっておられる、松田吉広師(日本同盟基督教団・武庫之荘めぐみ教会)のためにお祈りください。

聖書同盟最近の出版から



詩篇の愉しみ

野田 秀

2013年から2019年まで野田秀師が「みことばの光」誌に執筆された詩篇全150篇の解説を一冊にまとめました。長い伝道者生活の中で培われてきた経験と洞察を基にした解説で、詩篇の持つ豊かさを味わうことができます。

著者は東京フリー・メソジスト桜ヶ丘キリスト教会牧師として長年主に仕えてこられ、これまでに牧会や伝道に関する多くの書を著しておられます。

B5版 358 ページ 定価(本体 1,500 円+税)



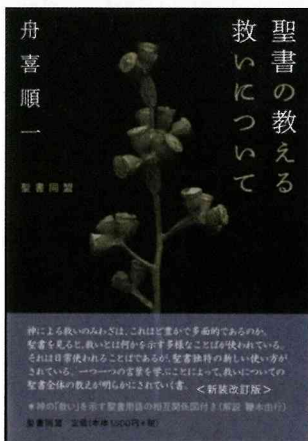
埋められていた聖書 (紙芝居)

脚色：ピーター・ファン・ウールデン

原訳：岳藤豪希 絵：茅場玲 制作：ハイジ音楽・文化研究所

300年間埋められていた聖書を掘り出した家族が、聖書のみことばを読む日々で変えられていった、という実話を基にした物語。大人にも子どもにも教会などでの集会に。卓上版はご家庭や訪問のために。

B4 サイズ紙芝居(10 枚) 定価(本体 2,200 円+税)



聖書の教える救いについて 新装改訂版

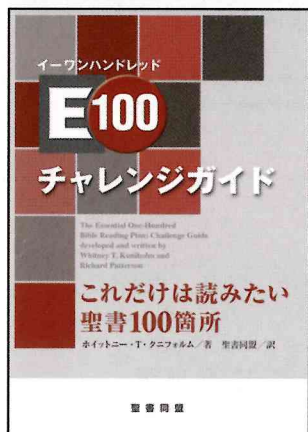
舟喜順一

神の「救い」を示す聖書用語の相互関係図付き (解説 鞭木由行)

聖書本文を新改訳 2017 に変更

聖書を見ると、救いとは何かを示すのに多様なことば、それも日常使われることばが用いられていますが、聖書独特の新しい使い方がされています。一つ一つのことばを学ぶことによって、救いについての聖書全体の教えが明らかにされていく書です。

B5 版 302 ページ 定価 (本体 1,500 円+税)



E100 チャレンジガイドこれだけは読みたい聖書 100 箇所

ホイットニー・T・クニフォルム/聖書同盟訳

旧約・新約聖書からそれぞれ主要な50箇所を選んだ、聖書研究ガイド。個人デボーションとグループでの話し合いを組み合わせる聖書全体の流れを理解し、聖書のメッセージが実際生活にどう関わるかを考えることができます。

A5 版 140 ページ 定価 (本体 800 円+税)

2020年度伝道部会計報告(2020年4月から6月)

収入	予算	実績	達成率(%)
聖書通読運動支援献金	4,100,000	718,560	17.5
CSK 支援献金	2,100,000	318,000	15.1
通読誌発行支援献金	40,000	5,000	12.5
SU 東西アジア支援献金	450,000	86,500	19.2
視聴覚活動支援献金	30,000	3,000	10.0
SU トルコ支援献金	60,000	0	0
主事支援献金	200,000	25,000	12.5
はじめての聖書通読支援	100,000	0	0
献金収入の合計	7,080,000	1,156,060	16.3
雑収入(受取利息含む)	2,000	6,601	330.0
収入 合計	7,082,000	1,162,661	16.4
支出	予算	実績	達成率(%)
対外協力費	333,000	0	0
人件費	3,667,000	850,204	23.1
事務管理費	1,614,000	215,335	13.3
活動費	1,150,000	71,602	6.2
その他	318,000	10,137	0.3
支出 合計	7,082,000	1,147,278	16.2
収支差額	0	15,383	

わたしの平安を与えます

理事長 稲垣博史

いつまでこのパンデミックが続くのでしょうか。専門家たちの意見は分かれたままです。何とも言えない不安を抱えたままの日々を送る中で、イエス・キリストがあ最後の晩餐の席で弟子たちに語られた「わたしはあなたがたに平安を残します。わたしの平安を与えます。わたしは、世が与えるのと同じようには与えません。あなたがたは心をさわがせてはなりません。ひるんではなりません」ということば(ヨハネ 14:27)が目に飛び込んできました。

自分たちが従ってきた主であるお方が十字架の死に向かっているのを知った弟子たちは動揺し、大きな不安の只中にいますが、主イエスは、弟子たちを最後まで愛し、助け主である聖霊の到来を約束し、「さあ、立ちなさい。さあ、ここから行くのです」と励ましておられます。そのような主イエスが持っておられる平安をいただいて、先の見えない日々を「助け主」とともに、進んでいきたいと思われました。

郵便振替払込用紙について

2019年4月にゆうちょ銀行(郵便局)の郵便振替払込用紙による払込手数料改定がなされ、1件当たり70円手数料が上がりました。聖書同盟CSKでは赤い払込用紙(手数料は団体負担)を同封させていただいています。もし手数料負担軽減にご協力くださる場合は、同封の青枠の払込用紙(手数料は送金者負担)をご利用くださることができます。もちろん、今まで通り、赤枠の払込用紙をお使いいただいても問題はありませんので、ご了承ください。

発行：一般社団法人 聖書同盟 Scripture Union Japan
 〒214-0013 神奈川県川崎市多摩区登戸新町 432-304
 TEL 044-900-9047(出版部) 044-900-8990(伝道部) FAX 044-900-9048
 E-Mail info@sujp.org ホームページ <http://www.sujp.org/>
 関西地区連絡所：〒661-0035 兵庫県尼崎市武庫之荘 1-32-8 TEL&FAX 06-6432-7556
 武庫之荘めぐみ教会(松田吉広)
 献金送金先 郵便振替：00160-8-173175 聖書同盟伝道部
 銀行口座：三菱 UFJ 銀行登戸支店(店番 258)普通 1138865 聖書同盟伝道部
 出版物関係送金先 郵便振替：00140-4-57061 聖書同盟出版部

CSK (中学生聖書クラブ協力会) 主催

CSK 第52回 中学科教師研修会

オンライン開催

テーマ

「成長のステップに合わせたチャレンジ」

～学生伝道の現場から～

2021年

3月6日 土

午前10:00～(14:30終了予定)

講演は清瀬福音自由教会(埼玉県新座市)より配信させていただきます。
(Tel: 042-491-2919)

講師

吉澤慎也

KGK(キリスト者学生会) 副総主事 学生宣教局長

You Tube
(講演)

&

zoom
(質疑・交わり)

プログラム

午前10:00～11:30 講演① You Tube 配信
質疑応答



(午前11:30～午後13:00は、ZOOMによる自由参加の交わりの時間です)

午後13:00～14:30 講演② You Tube 配信
質疑応答



申込先:  聖書同盟

〒214-0013 神奈川県川崎市多摩区登戸新町432 リビエール井田304号室
tel 044-900-8990 (伝道部・CSK) fax 044-900-9048
e-mail: info@suju.org website http://www.suju.org

第52回CSK中学科教師研修会申込書

申込受付: 2月21日(日)までに、Eメール、FAX、または郵送で。

ふりがな

氏名

所属
教会名

教団名等
()

連絡先

メールアドレス @

電話番号 ()

備考:

聖書同盟から書籍のご案内

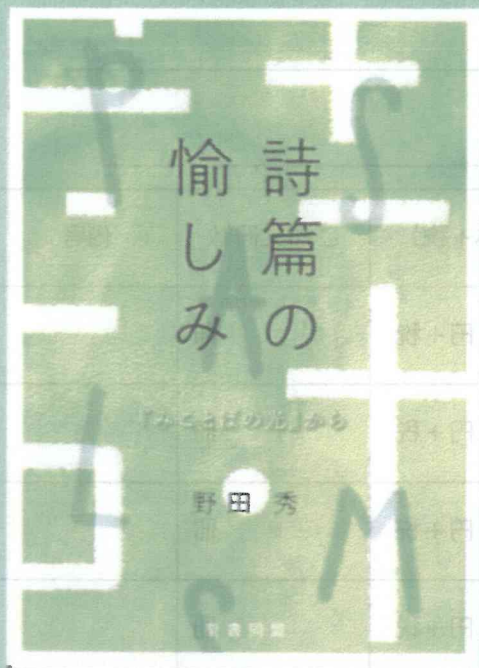
待望の新刊書!! 「詩篇の愉しみ」

～みことばの光から～

B5版・358ページ 定価(本体1,500円+税)

野田 秀

東京フリー・メソジスト桜ヶ丘キリスト教会協力牧師



2013年から2019年までに野田秀師が「みことばの光」誌に執筆された詩篇全150篇の解説を一冊にまとめました。長い伝道者生活の中で培われてきた経験と洞察を基にした解説で、詩篇の持つ豊かさを味わうことができます。

著者は東京フリー・メソジスト桜ヶ丘教会牧師として長年主に仕えてこられ、これまでに牧会や伝道に関する多くの書を著しておられます。

新装
改訂版!!

「聖書の教える救いについて」

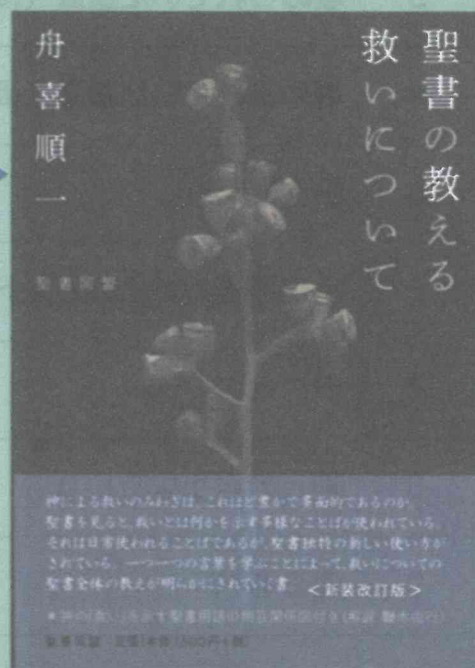
B5版・302ページ 定価(本体1,500円+税)

舟喜 順一

神の「救い」を示す聖書用語の相互関係図付き(解説 鞭木由行)

聖書本文を新改訳2017に変更

聖書を見ると、救いとは何かを示すのに多様なことば、それも日常使われることばが用いられていますが、聖書独特の新しい使い方がされています。一つ一つのことばを学ぶことによって、救いについての聖書全体の教えが明らかにされていく書です。



紙芝居「埋められていた聖書」



ピーター・ファン・ウールデン・脚色 岳藤豪希・原訳 茅場玲・絵

300年間埋められていた聖書を掘り出した家族が、聖書のみことばを読む日々で変えられていった、という実話を基にした物語。大人にも子どもにも教会などでの集会に。卓上版はご家庭や訪問のために。制作：ハイジ音楽・文化研究所。

B4サイズ紙芝居(10枚) 定価(本体2,200円+税)

卓上版(2Lサイズ)紙芝居 定価(本体1,400円+税)

◆ご注文・お問い合わせ 一般社団法人聖書同盟 Tel.044-900-9047、fax,044-900-9048

mail/info@sujp.org ホームページ <http://sujp.org/SUpage.html> →



書籍ご注文用紙

お申込日 年 月 日

お名前 _____

ご住所 〒 _____

ご連絡先（ご自宅・携帯） _____

	書籍名	定価（本体+税）	ご注文冊数	備考
1	詩篇の愉しみ	1,500円+税	冊	
2	聖書の教える救いについて	1,500円+税	冊	
3	埋められていた聖書（紙芝居）B4サイズ	2,200円+税	冊	
4	埋められていた聖書（紙芝居）卓上版	1,400円+税	冊	
5	基本聖句集	1,600円+税	冊	
6	聖書理解のためのガイドブック	1,500円+税	冊	
7	日ごとに	1,200円+税	冊	
8	神との豊かな交わり	1,000円+税	冊	
9	道しるべ	1,000円+税	冊	
10	E100チャレンジガイド	800円+税	冊	
11	いのちへの招き	400円+税	冊	
12	聖書通読の計画表	200円+税	冊	

【ご注文・お問い合わせ】

一般社団法人 聖書同盟 出版部

〒214-0013 神奈川県川崎市多摩区登戸新町432-304

TEL.044-900-9047 FAX.044-900-9048

メールアドレス info@sujp.org

ホームページ <http://sujp.org/SUpage.html>

